

◆

# 仙台市情報・産業フラザ(AER)

## 5F 多目的ホール

◆

10:00 開会の辞 東北大学病院 石井 幹子

10:05 総会 東北厚生年金病院 冨永 幸恵

10:10~11:10 クリニカルトーキング 第一部  
座長 東北大学病院 木原 弓枝

- 1-1 当院における外来インスリン導入の課題  
-A氏との関わりから学んだこと-  
東北公済病院 斎藤 麻里子ほか
- 1-2 地域と連携しながら患者の療養生活を支える取り組み  
東北大学病院 菅野エリ子ほか
- 1-3 心理面接が療養支援に関わった事例報告  
-チームカンファレンスの有効性-  
長町病院 志賀 綾子ほか
- 1-4 看護支援における糖尿病患者の退院基準に関する実態調査  
宮城大学 看護学部 阿部 絵里子ほか
- 1-5 壮年期にある2型糖尿病患者の健康に対する価値観を高める看護  
支援の実践知  
宮城大学 看護学部 渡辺 よしえほか

11:10~11:15 休憩

11:15~12:15 クリニカルトーキング 第二部  
座長 東北公済病院 安斎 由美

- 2-1 外来における糖尿病患者のフットケア  
-セルフケア状況と継続のための関連要因の検討-  
弘前市立病院 内科病棟 海老名 明美ほか

- 2-2 足病変発症を機にセルフケアを見直した一事例  
-合併症存在理解への関わり-  
八戸市立市民病院 久保 睦子
- 2-3 フットケアチームを立ち上げたこれまでの経過と今後の課題  
-循環器科・形成外科・糖尿病科合同で行っているフットケア  
回診の報告-  
坂総合病院 山下 義隆
- 2-4 糖尿病重症化予防(フットケア)研修後のフォローアップ実践  
報告と今後の課題 -第一報-  
八戸赤十字病院 松橋 法子ほか

- 2-5 地域糖尿病センター開設に伴う病棟業務改善と今後の課題  
山形市立病院済生館 平田 絵理ほか

12:15~13:15 昼休憩

13:15~14:15 クリニカルトーキング 第三部  
座長 坂総合病院 山下 義隆

- 3-1 療養型病棟における震災発生時のインスリン療法患者の看護  
岩切病院 佐藤 美世ほか
- 3-2 東日本大震災が被災地の糖尿病食事療法における療養指導に与え  
た影響と必要な支援  
宮城大学 看護学部 吉田 愛ほか
- 3-3 糖尿病教室における災害用パンフレットの有効性  
-東日本大震災を体験した患者の意識の変化を考える-  
仙台市立病院 青山 浩子ほか
- 3-4 高度肥満2型糖尿病患者に対する減量と血糖コントロールの  
取り組み-GLP1 受容体作動薬の導入、CBT セルフモニタリング  
を用いた食事指導の検討-  
工藤内科クリニック 石田 もえこほか
- 3-5 自己評価表を用いた糖尿病療養指導の導入のプロセス  
東北大学病院 由浪 有希子ほか

14:15~14:20 休憩

14:20~15:20 クリニカルトーキング 第四部  
座長 奥口内科クリニック 熊坂 薫

- 4-1 歯周病ケアの普及状況  
-木村健一クリニックの場合-  
木村健一クリニック 佐々木 美保子ほか
- 4-2 当病棟の糖尿病集団指導におけるアイスブレイクの効果  
-口腔ケア指導後の患者の療養行動の変化-  
八戸市立市民病院 奈良岡 秀子ほか
- 4-3 糖尿病入院患者の口腔衛生指導  
長町病院 三浦 裕美ほか
- 4-4 血糖自己測定とHbA1cとの関連性の検討  
工藤内科クリニック 長谷川 智子ほか
- 4-5 1型糖尿病合併妊婦の支援  
青森県立中央病院 中畑 正子ほか

15:20~15:30 休憩

15:30~16:30

【特別講演 I】

座長 奥口内科クリニック 院長 奥口 文宣 先生

「糖尿病と口の健康について」

東北大学大学院 歯学研究科  
口腔保健発育学講座 予防歯科学分野  
教授 小関 健由先生

16:30~16:40 休憩

16:40~17:40

【特別講演 II】

司会 宮城大学 看護学部 准教授 只浦 寛子

「患者の権利と看護職の役割  
~インフォームド・コンセントのほんとうの  
意味は~」

江戸川大学 メディアコミュニケーション学部  
マス・コミュニケーション学科  
教授 隈本 邦彦先生

17:40~17:45

閉会の辞 坂総合病院 山下 義隆

# 宮城県糖尿病看護研究会規約

## 第1章 総則

- 第1条 本会は、宮城県糖尿病看護研究会と称する。  
第2条 本会の事務局を下記におく。  
東北大学病院 西14階病棟

## 第2章 目的

- 第3条 本会は、糖尿病看護全般の研究と、会員相互の教育と情報交換を行うことにより専門看護領域としての糖尿病看護の向上発展を図ることを目的とする。

- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

1. 研究会の開催
2. 本会の目的達成に必要な事業
3. その他の事業

## 第3章 会員

- 第5条 本会の会員は、糖尿病教育・看護に携わるものとする。  
第6条 本会への入会は年会費の納入をもって入会とする。

## 第4章 役員及び運営

- 第7条 本会に次の役員をおく。  
代表世話人 1名  
世話人 12名  
監事 1名
- 第8条 世話人会は、代表世話人、世話人、監事で構成する。  
世話人については、別添参照
- 第9条 代表世話人は、世話人会において選出する。
- 第10条 世話人会は、本会の企画運営にあたる。
- 第11条 研究会は、世話人会が運営にあたる。
- 第12条 研究会は原則として年1回開催する。

## 第5章 会計

- 第13条 本会の会計は東北大学病院 西14階病棟におく。
- 第14条 本会の運営及び事業に必要な経費は、会費、寄附金、その他の収入をもってこれにあてる。
- 第15条 本会の会計年度は、4月1日より3月31日とする。

## 第6章 付則

- 1) 本会の会費は、年会費1,000円、研究会参加費1,000円とし、非会員は研究会参加費2,000円とする。
- 2) 本会会則の変更は世話人会の議決による。
- 3) 本会会則は平成16年6月19日から施行する。

平成16年6月19日施行

## 日本糖尿病療養指導士「認定更新のための研修単位」

本研修会は、日本糖尿病教育・看護学会により糖尿病療養指導士更新単位<第1群>看護の研修4単位が認定されます。  
日糖教教学-共催 第〇〇〇号「申請中」

また、本研修会は「日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会」として<第2群>（糖尿病療養指導研修単位）2単位（認定番号〇〇-〇〇〇）「申請中」が認定されます。

注) 以上の申請のうちどちらかの一方の選択になります。

## 会場までのアクセス



共催：宮城県糖尿病看護研究会  
日本糖尿病教育・看護学会「申請中」  
宮城県糖尿病対策推進会議「申請中」  
日本イーライリリー（株）

# 第8回 宮城県糖尿病看護研究会 プログラム

日時：平成24年6月3日（日）  
10:00～17:45

会場：仙台市情報・産業プラザ  
(AER)

5F 多目的ホール

仙台市青葉区中央1-3-1

TEL:022-724-1200

### 【緊急連絡先・研修会問合せ先】

日本イーライリリー株式会社  
糖尿病・成長ホルモン事業本部  
北日本支店 阿部 辰徳  
TEL:022-712-8060  
FAX:022-712-8065  
E-mail:abe\_tatsunori@lilly.com